

静岡 第9隊

参加数 : 指導者 4名 スカウト BS 26人 (内男子15人、女子11人)
VS 3人 (内男子2人、女子1人)

参加指導者 : 隊長 原田雅樹 (静岡第27団)

副長 寺田万友 (静岡第22団)、大場文野 (静岡第22団)、南條順子 (静岡第27団)

1. 事前訓練(活動) (事前訓練・発隊式・壮行会 等)

- 4月7日 決隊式、隊集会
- 5月4～6日 準備キャンプ①
- 6月30日 GB会議およびGB訓練
- 7月7日 壮行会
- 7月14～16日 準備キャンプ②

2. 17NSJ期間中 (移動、サイト、活動、健康状態(事故)等)

- 8月3日 21:15 グランシップ出発、途中焼津新港で4名乗車。
- 8月4日 8:25 入場・受付、設営
- 8月5日 設営、開会式
- 8月6日 教宗派を超えた集いリハーサル、
モジュールプログラム、
千葉8隊との交流会
- 8月7日 教宗派を超えた集い、友情ゲーム、ジャンボリー大集会
集会中に1名気分が悪くなり、救護所へ
- 8月8日 モジュールプログラム、
ジャンボリーゲーム日本一 (班旗立て VS6人部門、麒麟班2位)、
三重2隊との交流会
- 8月9日 モジュールプログラム、撤営
- 8月10日 撤営、静岡へ向けて出発、途中焼津新港で4名下車後、
19:10 グランシップ着

3. 大会本部・サブキャンプ・派遣団本部へ (提案)

暑さで活動中止になったが、実際にはショップに行っているスカウトが多数いた。まじめに待機していたスカウトには不公平である。指導者がついていれば可など、具体的な条件を示して欲しい。

この暑い中、制服・ハットでの開会式は熱中症の患者を増やすだけだと感じた。形にこだわるという理由だけでは保護者に対して説明がつかない。スカウト目線に立った柔軟な判断を求める。実際、会場では多くのスカウトがハットをかぶっていなかったし、大集会、閉会式に至っては制服ではない隊も散見された。

教宗派を超えた集いのリハーサルが長く、モジュールプログラムの参加に影響した(1時間遅れ)。他のプログラムもあるので、時間を守ってほしい。

モジュールプログラムによって受付の仕方が異なり、わかりにくかった。統一できないか。また、最近のセミナー等で行われているように全て事前予約制にしてしまうのも手だと思う。

各宗派の集いの位置が近く、本来聞きたい声が隣の宗派の音にかき消されてしまって聞こえなかった。もう少し離す配慮が欲しかった。

友情ゲームは13時スタートではなく13時30分のスタートだと周知があったにもかかわらず、13時以前から始めているスカウトが多数見られた。ルールを守る方が損をする状況では、ずる賢く振舞うことを奨励しているようで、教育活動と言えるのか甚だ疑問である。

ゴミの出し方について、二転三転した。ペットボトルの出し方(つぶすかつぶさないか)、ガス缶の出し方(穴を開けるか開けないか)。地域のゴミの出し方は決まっているはずなので、もっと事前に徹底できたのではないか？

スカウトがシャワーでシャンプー等を使えないのは、男子にとっては問題ないかもしれないが女子にとってはちょっと厳しいと思う。ボーイスカウトへの女子参加を認めるのであれば、女性への配慮がもう少し必要ではないか。

働き方改革が叫ばれる中、5時配給で22時消灯、しかも各プログラムの間隔が短いというのはもう時代遅れではないか？余裕を持ったプログラム構成にしてほしい。

ジャンボリーゲーム日本一のルールが事前の案内と異なっていたので、対応に苦慮した。企

画自体はとても良いと思うが、事前準備を考えると、予めルールの詳細まで決めた上で公表してほしい。

ショップの行列が長過ぎる。毎回同じだと聞いたが、10分程度の待ち時間で入れないと他のプログラムへの参加に影響するので、もう少し拡大してほしい。また、品揃えも2日目くらいに品切れになるのではなく、最終日前日くらいまではオリジナルグッズを揃えておいて欲しい。

以上